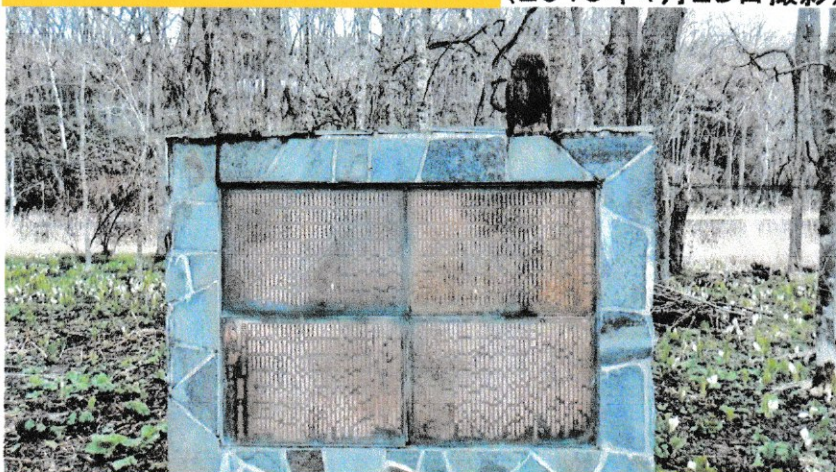


通信 芭蕉水人呼

ミズバショウ保全の碑

(2019年4月28日撮影)



ヤチダモ林は残った
有志二千人の思いかなう

2市民団体が訴え

↑ 記念碑は高さ2m・幅2m鉄平石張り。保全に協力した約1,000人の名前を彫った銅版画の原版が埋め込まれている。

*ミズバショウ群生地後世に

故清水晶子会長



- 1940年 東京生まれ
- 1962年 子育てのため渡道、札幌に住む
- 1989年 北海道植物画協会設立、会長に就任
- 1990年 札幌から網走市呼人「森の家」に移住
- 2002年 網走湖・水と緑の会設立、会長に就任
- 2022年 6月2日老衰にて死去、享年82歳

～雪どけ水の中春告げる～

ミズバショウ (サトイモ科)



網走湖周辺の水芭蕉群落は世界一の規模と言われ、四月末から五月初旬にかけてが見ごろです。

遠くからでも見える白い帆のような部分は仏炎苞と呼ばれ、花はその内側の棒状部分に密集して咲きます。

故・清水晶子さん作

★追悼★

雑木林の林床は花で埋まり、心地よ
ついに、28年間住み慣れた札幌から網
住みましたと、いって網走の草花を愛
として素晴らしい作品を残してくれま
なったミズバショウ群生地の保全を訴
会長として活動の中心になり道内外か
の美しいヤチダモの林を守ってくれま
ショウ群生地の保全に力を注ぎ後世に



い春の日差しが溢れていました。
走湖に近い呼人の雑木林の中に移り
し植物画を描くポタニカルアーティスト
した。売り出され埋め立てられそうに
え、『網走湖・水と緑の会』を結成、
ら約1,000人の協力者を募り、呼人
した。貴女の遺志を引き継ぎ、ミズバ
伝えます。安らかにお眠りください。

故・清水晶子会長

◎令和5年度活動報告

<保全地の状況 春の清掃>

今年は水芭蕉の開花が例年より10日ほど早く林内には入れず周辺のゴミ拾いや小枝拾い、
落ちた枝の除去。側溝の清掃、歩道の清掃などをしました。水路にはゴリの稚魚が群れてい
ました。

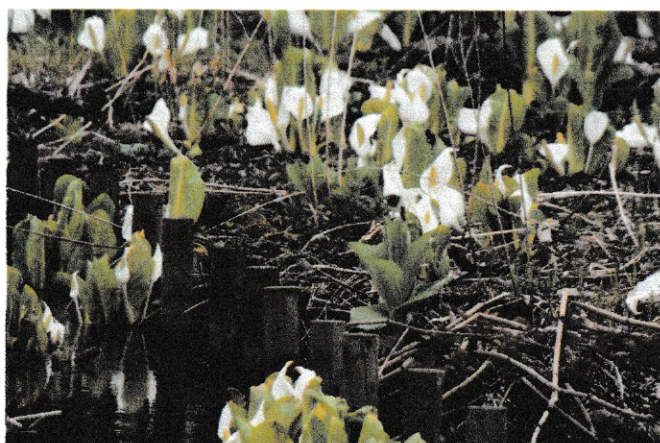
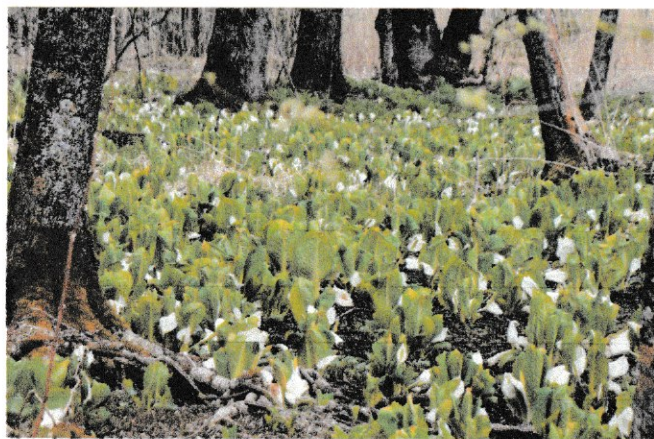
国道側の陸地化の進行は避けられずバイケイソウが増えています。NGKの若者たちが12人、
長生クラブ5人の参加でした。

<工事終わる>

石北線線路と保全地側溝との間の工事は終わり、ほぼ前と変わりません。去年は蛍の発生
を見ましたがサケの遡上も確認できませんでした。



2023年4月24日 呼人水芭蕉群生地にて



◎令和5年度総会報告

6月17日(土)呼人コミュニティセンターにて、令和5年度「網走湖・水と緑の会」総会を開催しました。会員総数22名中、出席者6名、委任16名で総会は成立、冒頭に前会長・清水晶子さんへの黙とうを捧げ、議長選出のあと議案書(各位に送付)に沿って議事進行しました。事業報告、会計報告、監査報告に続き、来年度予算について検討、令和4年度の活動実績が無かったため、令和5年度における活動は繰越金を充当し、会費徴収は行わないなど、規約の一部改正と役員選出の議事を終えて、閉会しました。(総会開催案内に返信のあった退会者は21名でした=議案書名簿参照)

高齢化が進む会の今後の運営について、網走市や観光協会へ委ねることができないか交渉する、若い別組織・団体へ包括・委譲できないかなど意見がありました。いずれにしても後世へバトンタッチするまで、以下の役員で活動することになります。どうぞよろしくお祈いします。(新役員一同)

<新役員>

会長・浅利栄治、副会長・本間公三、副会長・高橋和憲、事務局長・大槻 茂、顧問・アドバイザー 清水 敦、監査・田中勝則、竹内 勇
理事・及川光義、及川百合子、藤原幸一

◎新会長からごあいさつ

新会長・浅利栄治『網走湖・水と緑の会』の活動が発足してから20年もの月日が流れました。当会は、長きにわたり、呼人ミズバショウ群生地の保全活動を精力的に続けて参りました。発足当時を振り返ってみれば、売りに出され埋め立てられそうになった呼人のヤチダモ林の豊かな自然をナショナルトラスト運動によって、全国の協力者1,000人以上から総額約600万円の寄付を集め同地を購入するという著しい成果を上げ、網走市に永久保存を条件に土地を寄贈したことが、活動の始まりでした。会員有志と住民が定期的(春秋)に保全作業を続け、呼人ミズバショウ群生地と周辺の自然は守られ、後世へ引き継がれています。しかしながら、最近、押し寄せる高齢化の波にコロナ禍が加わり、会の運営は停滞気味で、令和5年度総会で確認した会員数は43名から22名に減少しています。共に活動の中心になってきたNPOグリーンシーズが令和4年に高齢化を理由に解散、発足当初から会長として人望厚く知己に富む清水晶子さんのご逝去などが重なり、会の求心力を低下させる要因になったかも知れません。令和5年度総会では、現状を踏まえた様々な問題をどのように解決して行くのか、大きな課題となっております。今後の会の運営と活動について皆さまから忌憚のないご意見を寄せていただければ有難いと思います。引き続き、ご協力をよろしくお祈いします。

諸般の事情(コロナ、清水晶子会長死去、会員の高齢化、多数の会員の退会などなど)があり今日に至ってしまったことをお詫びいたします。体調の立て直しに時間がかかってしまいました。残った地元会員(5人)で話し合った結果、今後「新体制で保全活動を続行」することになりました。

網走市における当保全地の重要性を念頭に、活動主体をこれまでの一般市民から、費用、労力などの面で網走市や、網走市観光協会にシフトできないか。目下交渉中です。

<確認事項>

- ・網走湖の水質保全への寄与
- ・景観、観光への寄与。網走市の玄関口として、フォトスポットとして
- ・貴重な街中のビオトープ(生態系空間)として

現在は国定公園から外れているために規制がありません。

また、広報活動はこれまで「呼人水芭蕉通信」が主体でしたがこれからはインターネットでも広く配信したいと思います。

・会員募集中です！年会費1,000円&年一回/呼人水芭蕉通信の発行

・申し込み/問い合わせ先 TEL/FAX 0152-48-2223 文責 清水敦